



～東の丘に芳しく香れ～

東芳っ子供り



令和4年 9月20日

東芳小学校だより

第20号

文責：校長 山際裕之

放射線を学ぼう！ 1～4年生が出前授業を実施

小学校では、放射線教育が必須となっています。発達段階に応じて、放射線に関する正しい基礎知識、身を守る方法、思いこみや偏見をなくすことなどを学びます。本校では、9月13日(火)、14日(水)に、公益財団法人日本科学技術財団から講師の先生を派遣していただき、放射線出前授業を行いました。これは、文部科学省の委託事業になっています。

1・2年生は、カード合わせなどを通して、身の回りのいろいろなものから放射線が出されていること、量が少なければ健康への影響がないことなどを学びました。3年生は全員が「はかるくん」という測定器具を使って、理科室の空間放射線量やいろいろな物質から出ている放射線量を測定して、放射線への理解を深めました。4年生は、目に見えない放射線を、霧箱実験により「見える化」する活動をしました。エタノールやドライアイスを使った本格的な実験をひとりひとりが体験しました。新たな発見や感動が得られた授業でした。5・6年生は、10月28日にコミュニティ福島（福島県環境創造センター）で学習する予定です。



「心の授業」～ふくしま子どもの心ケアセンター出前授業～

9月13日(火)、3・4年生、5・6年生が「心の授業」を行いました。出前授業として「ふくしま子どもの心ケアセンター」から、カウンセラーの資格をもつ講師の先生に来校いただきました。

3・4年生は、「心を大切にする方法」というテーマの授業です。「みんなそれぞれによさがある」、「他の人とちがってもいい」、「自信をもとう」ということを考えるよい機会となりました。今年度、本校は自己肯定感の高い子どもを育てることを教育の柱にしています。よい子どもたちばかりなので、達成できるように教育活動に取り組んでいます。

5・6年生は、「心のメッセージを変えてみよう」というテーマの授業です。「悪い思いこみ」、「何でも自分が悪いと考えてしまうこと」、「〇〇すべきと考えすぎることを、もっとポジティブに、もっと自分が楽になるように考え方を試してみよう」などを、もっとポジティブに、もっと自分が楽になるように考え方を試してみようことを演習しました。考え次第で気持ちが変わることを実感していたようでした。

講師の先生からは、学習中の態度、オンとオフの切り替え、積極的な発言、グループ活動での対話の様子など、「とてもすばらしい子どもたちですね」という言葉をいただきました。そうです。東芳小学校の子どもたちは、すばらしいのです。



* 日常の学校教育活動の様子は、本校ホームページに随時掲載しております。どうぞご覧下さい。